

松江ロータリークラブ  
幹事 原田 光明

古瀬俱之ガバナー、山代裕司地区大会実行委員長をお迎えして公式訪問に先立ち会長・幹事懇談会におきまして、次のような連絡事項とクラブ運営についてご指導等をいただきました。

はじめに、連絡事項として、山代地区大会実行委員長から地区大会について開催案内があり、当クラブの登録についてお願いがありました。古瀬ガバナーから①100周年のピンバッジについて1個200円で購入の案内。②ハワイ開催の国際大会について開催内容の案内。③長期青少年交換学生応募が少ないので希望者があれば、ガバナー事務所に問い合わせで説明を聞いて欲しい。

古瀬ガバナーよりロータリーの基本(心)について、1:友情 2:寛容 3:奉仕 についてご教授いただきました。また次のお願いがありました。①会長へ会員に対して地区目標を伝えて欲しいと要望。②R Iにおいて世界で起こる災害について、災害基金を作り支援金を募るのでお願いします。③ポリオ撲滅について、今後はポリオ絶滅とする。

櫻井会長から、今後のメイクアップの対応について、当クラブは今までどおり出席100%賞を設けて運用し、年度末に年度の補正をかけてガバナー事務所に報告しますと説明を行いました。

そして、クラブ運営の具体的な事例について協議を行いました。まず、奉仕活動について、会長より、今年度は地区補助金の利用はありません。補助金利用が無ければその資金をポリオ絶滅の募金活動に回すなど考えられます。古瀬ガバナーよりクラブの戦略(ビジョン)がありますか?の質問に対して、櫻井会長から、重点として会員拡大と活性化についてクラブ内のプロジェクトを組んで進めていて、僅かであるが会員増の実績があると回答。古瀬ガバナーよりビジョンは会員アンケートを行い、3から5年の中期目標を策定し、必ず計画に対して事後のチェックをして計画を都度練り直さなければならない。(具体的には直前会長、会長、次年度の会長の3名で立案とチェックを行い計画を練り直すという事) 櫻井会長から、3名で連携して取り組みたいと返答。また、櫻井会長から退会者の退会理由について年齢や体調、自営業会員の事業継承などが理由であると説明。当クラブの副会長が2名であることに対して説明。最後に古瀬ガバナーより「ロータリーに正解はないので、他クラブの例を参考にしてください」とご指導を受けました。

クラブ運営について、具体的な例を挙げてのご指導誠にありがとうございました。今後もより一層のご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。